

【35】 なぎなた競技

1. 期 日 2019年8月4日（日） 午前9時
2. 会 場 小松市 小松市松陽地区体育館（小松市大領町な 66 番地）
3. 区分及び参加人員

区 分			監 督	選 手		合 計
				団 体	個 人	
正式競技	一般の部	女子（演技のみ男子可）	1	9	4	14
正式競技	壮年の部	女子（演技のみ男子可）	1	9	—	10

4. 競技上の規定及び方法

- (1) 全日本なぎなた連盟競技規定及び審判規定による。
- (2) 競技は演技競技と試合競技とする。

演技競技は全日本なぎなた連盟仕掛け応じ技3本を旗形式で行う。また、「一般の部」及び「壮年の部」ともに演技競技のみ男子の出場を認める。

(ア) 正式競技 一般の部（団体戦）

- ① 一般の部の出場者は年齢に制限はない。
- ② 演技競技は、全日本なぎなた連盟仕掛け応じ技のうち「4本目・5本目・7本目」を旗形式で行い、1チーム3組出場とする。原則として2組以上は参加するものとし、勝数及び勝本数が同数になった場合は、代表決定戦を行い、団体出場者であれば誰が出てよい。
- ③ 試合競技は、1チーム3名とする。
試合時間は、3分とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。勝数及び勝本数が同数の場合は代表決定戦を行う。代表決定戦の試合時間は3分1本勝負とする。勝敗が決しない場合は、延長戦を行い試合時間2分延長1回判定とする。
- ④ 競技は、演技競技・試合競技ともトーナメント方式で行い、4位まで決定する。なお、準々決勝に進出したチームはすべて5位とする。
- ⑤ 監督は選手を兼ねてもよい。また、選手は1人2種目（演技競技・試合競技）に出場できる。

(イ) 正式競技 一般の部（個人戦）

- ① 参加選手は4名以内とする。但し、団体戦に出場した選手は出場できない。
- ② 競技は、演技競技・試合競技ともトーナメント方式で行い、4位まで決定する。なお、準々決勝に進出したチームはすべて5位とする。
- ③ 演技競技は、全日本なぎなた連盟仕掛け応じ技のうち「4本目・5本目・7本目」を旗形式で行う。
- ④ 試合時間は3分とし、勝敗が決しない場合は、延長戦を行い試合時間は2分延長1回判定とする。
- ⑥ 監督は選手を兼ねてもよい。また、選手は1人2種目（演技競技・試合競技）に出場できる。

(ウ) 正式競技 壮年の部 (団体戦)

- ① 壮年の部の出場者は昭和43年4月1日以前に生まれたものとする。
- ② 演技競技は、全日本なぎなた連盟仕掛け応じ技のうち、1本目・3本目・6本目を旗形式で行い、1チーム3組出場とする。原則として2組以上は参加するものとし、勝数及び勝本数が同数になった場合は、代表決定戦を行い、団体出場者であれば誰が出てよい。
- ③ 試合競技は、1チーム3名とする。
試合時間は、2分とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。勝数及び勝本数が同数の場合は代表決定戦を行う。代表決定戦の試合時間は2分1本勝負とする。勝敗が決しない場合は、延長戦を行い試合時間1分延長1回判定とする。
- ④ 競技は、演技競技・試合競技ともトーナメント方式で行い、4位まで決定する。なお、準々決勝に進出したチームはすべて5位とする。
- ⑤ 監督は選手を兼ねてもよい。また、選手は1人2種目(演技競技・試合競技)に出場できる。

(エ) 正式競技の成績決定方法

- ・「一般の部」は、団体戦及び個人戦の各種目ともに仮に1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位2.5点の得点を与え(参加数により仮得点は変更する)、その2種目の合計得点により順位を決定し、総則による得点を得るものとする。
- ・「壮年の部」は、団体戦の種目に仮に1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位2.5点の得点を与えて(参加数により仮得点は変更する)順位を決定し、総則による得点を得るものとする。

5. 選手交代について

- ・正式競技間(団体戦、個人戦)の交代は認めない。
- ・申し込み後に新たな人と交代する場合は、総則12に定めるところによる。申し込み時の仕掛け応じ並びオーダーを変更することはできない。

6. 参加資格

- ・参加資格は総則9に定めるところによる。

7. 表彰

- ・総合成績及び全種目において1位から3位までに賞状を授与する。

8. 参加申込方法

- ・総則12に定めるところによる。